sì gūniang shān 四姑娘山 写真だより No. ㉛ 春節前後の行事

写真と文／
四姑娘山自然保護区管理局 特別顧問
大川 健三

女王谷のギャロンチベット族は四川省西北部のアバ州と甘孜州に跨って数10万人居ますが、半農半牧の彼らが最も心待ちにしている伝統行事は春節です。その春節の前後に見られる多彩な行事の幾つかをご紹介します。

◇干し肉作り：春節の2カ月位前から豚を潰して干し肉作りを始めます。豚は手足と口を縛られ、喉笛と隣接する頸動脈を掻き切られて1分で絶命します。その後豚に熱湯を浴びせて体毛を削ぎ取り（写真1）、解体し、小さく切って軒に吊るして干し肉を作ります。干し肉は冬場だけでなく夏になっても貴重な食料です。この時期、豚の悲鳴が谷の彼方此方に木魂します。

◇先祖の墓参り：春節の前日、生きている世代の一つ前の世代のお墓を掃き清め線香を焚いてお参りします（写真2）。日本では夫婦が同じ墓に葬られますが、当地ではラマが占った別々の場所に葬られます。

写真１　春節の２カ月位前から豚を潰して干し肉作り

◇年越しの花火：この10年位の内に始まった行事ですが、夜の12時になると、山の斜面に点在する各農家の屋上から次々と花火が打上げられ、新年を祝います。

◇厄除けの旗の立て替え：春節の朝、平屋根の四隅で新年の安全と豊穣を祈って色とりどりの旗を立替えます。また香煙を焚いたり法螺貝を吹きます。

◇先祖の供養：亡くなってから3年間、春節の5日間に渡ってお経が読まれ、ご馳走が振る舞われます（写真3）。

◇お宮さんの初参り：集落の外れに在る廟に村の人達が揃ってお参りしたり、新年の挨拶を交わします。廟は元々ボン教の建物で殆どの村人が左周りに3周しますが、ラマ教の村人の一部は右回りします。

◇畑への引水：春節が明けない内に村人は代わる代わる用水路から畑へ水を引き込みます（写真4）。畑の中に溝を掘り水を行き渡らせますが、その時に土から掘り出される虫を目当てに、カササギが

写真２　墓を掃き清め線香を焚く

写真３　亡くなってから３年間、春節の５日間に渡ってお経が読まれる

集まって来ます。

◇**経文の日干し**：春節の終わり（小正月）に執り行われます。お寺の世話人達が大きな経文を捧げて境内を練り歩き、村人達は頭を経文に触れてご利益を祈ります（写真5）。経文の日干しに先立って高さ20mもの仏画の開帳や降臨した神様の踊りが披露されます。この後、本格的な農作業が始まります。

◇**どんど焼き**：日本のどんど焼に似た行事が春節の間に行われます（写真6）。麦藁と柏の枝で編まれた櫓には一本の長い赤い糸が結ばれていて、櫓の周りに並んだ村人全員がこの赤い糸を手に持ち、僧侶が豊作と無病息災を祈ります。さらに櫓へ小麦の種を振り掛けた後、櫓を境内の外へ移して燃やします。またラマが松葉の枝を使って、清めた水を村人達の頭に振り掛けて祈ったりもします。

▶大川さんのホームページはこちら

- 四姑娘山
  http://rgyalmorong.info/scholaweb/conts.htm
- 女王谷
  http://rgyalmorong.info

写真４　用水路から畑へ水を引き込みます

写真５　経文の日干し

写真６　日本のどんど焼に似た行事